

令和6年度「第1回助産師・産科管理者交流会」

CloCMiP レベルⅢ選択研修

日時:令和6年7月27日(土)9:30~12:30

場所:鹿児島県看護協会 看護研修会館 2階 視聴覚室

参加者:41名(内学生12名)

開催方式:会場とZoomによるハイブリッド研修

講師:公益社団法人 日本看護協会 常任理事 井本寛子 先生

いまきいれ総合病院 島田めぐみ 先生

訪問看護ステーションかごしま 江頭志穂美 先生

鹿児島大学病院 川原みゆき 先生

井本先生から「女性の一生における助産師の専門性」について統計的データ、国の動きをふまえ、現状と課題が明確に示された。助産師は周産期だけではなく、女性の一生を幅広く支援していく専門職であるが、現状は「ウイメンズヘルスケア」に関する分野での活動が手薄になっている。今後、助産師の活動の場を広め、社会にも周知していく必要がある、という示唆をいただいた。

現状報告では、性教育を実施している島田めぐみ先生から、歯止め規定から本来必要な性教育の内容を十分に説明できないことのジレンマや性教育を受けてほしいのは思春期にある人だけではないことなどの話があった。

訪問看護ステーションかごしまの江頭志穂美先生からは、医療的ケア児や精神疾患のある対象とその家族の現状と活動報告があった。

鹿児島大学の川原みゆき先生からは、更年期障害に対する助産師の役割の現状と課題について報告があった。意見交換では、質問や意見、感想等が多く出された。

